

この事例の行為について

- ・オムツ交換中に、周囲に人がいるのにカーテンを開けっぱなしにする行為は、見せないための配慮をしていないことから**性的虐待**と考えられます。
- ・高齢者が嫌がっているのに話続けたり、オムツ交換している所を見られて恥ずかしい歳でもない等と言うことは、高齢者を侮辱する行為であることから、**心理的虐待**と考えられます。

防止のためのポイント

<個人でできること>

●自分のケアを振り返ってみましょう

- ・ケアマネジャーの言動について考えながら、自分のケアを振り返る
- ・性的虐待と心理的虐待は切り離せない問題であることを考える
 - ◆性的虐待が与える心理的ダメージについても同時に考えていく
- ・高齢者の気持ちを考える
- ・自分本位（“非”高齢者本位）になっていないか考える
 - ◆ケアマネジャーの都合が優先されている
 - ◆相手の立場に立って考えていない 介護職員の業務への理解、介護（他職種）の専門性 への尊重も欠けている
- ・虐待に繋がる言動を理解し、対応する
 - ◆高齢者への声掛けや態度について「親しみを込めたつもり」でも、馬鹿にしたり、侮辱した言動になっていないかを考える

●どのように対応したらよいか不安な時は、一人で判断せず、同僚や上司に相談・報告しましょう

<チームでできること>

●相談しやすい雰囲気、風通しの良いチームを作りましょう

- ・虐待につながる可能性のある気になる言動やケアを放置しない関係を作る
- ・リーダーなどを中心に話し合える機会を持つ
- ・なんでも相談できる安心感（心理的安全性）を確保する

●高齢者の情報を共有し、対策を統一しましょう

- ・情報共有・意見交換の機会を設ける
- ・高齢者の心情までチーム全体で検討・推察していく
- ・チームで検討した意見を伝えることで、正しい対応をしてもらえるよう働きかける

<組織でできること>

●高齢者虐待に対する考え方を共有・周知しましょう

- ・特定の職員の問題としてではなく、職場全体の課題として捉え、職員全体で共通理解を図る機会を持つ
- ・単なる定義の解釈にとどまらず、虐待に至る環境や状況、具体的な事例等、考え方を学ぶ

●虐待防止のために普段から取り組みましょう

- ・高齢者虐待防止に関する学習の機会を定期的に設ける
- ・学習した内容が実践に活かされているかを確認、評価する
- ・虐待防止委員会等、管理者を含めた検討の場で、組織的取り組みについて定期的に検討できる仕組みを設ける
- ・高齢者の理解とそれに基づいた適切なケアの提供について学習することで高齢者虐待が発生しない環境を作る

